

## 富士箱根伊豆国立公園ステップアッププログラム 2025 アクションプラン(箱根地域版) プロジェクト一覧表

### ①上質化された魅力を快適に満喫できる国立公園

プロジェクト	実施内容	実施時期の目標				
		令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度
ア. 箱根エリア内の主要地点における景観の改善・向上	1. 景観改善が必要な地点の整理に係る協議	箱根地域協議会での議論	【箱根町、神奈川県、環境省】作業部会による景観改善が必要な地点の整理			
	2. 景観改善に向けた取組推進に係る協議	アクションプランのプロジェクトとして位置づけ	協議会に「景観の改善・向上作業部会」を設置	【環境省】法令関係確認	【民間事業者、箱根町、神奈川県、環境省】具体的な取組を実施するための協議、取組実施	
	3. 景観イメージの更なる向上に繋がる地点の整理に係る協議	箱根地域協議会での議論	【箱根町、神奈川県、環境省】作業部会による景観向上に繋がる地点の整理			
	4. 景観向上のための取組推進に係る協議	アクションプランのプロジェクトとして位置づけ	協議会に「景観の改善・向上作業部会」を設置	【環境省】法令関係確認	【民間事業者、箱根町、神奈川県、環境省】具体的な取組を実施するための協議、取組実施	

プロジェクト	実施内容	実施時期の目標				
		令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度
イ. 畑引山集団施設地区(箱根やすらぎの森、森のふれあい館、白浜、道の駅箱根峠)の保全と利用の推進	1. 保全と利用促進の方策についての協議、取組推進	箱根地域協議会での議論 「畑引山集団施設地区の活用に関する方向性の検討・あり方(案)」の作成	【箱根町、箱根DMO、環境省】協議会による方向性の検討 「国立公園利用拠点計画(案)」の作成	【箱根町】箱根やすらぎの森、森のふれあい館のリニューアル内容検討、整備着手 【環境省】法令関係確認、各種調整による取組推進、白浜について実施できる所から取組実施		
	2. 連携による管理・運営方策についての協議、取組推進			【箱根DMO】リニューアル後の森のふれあい館の運営方法検討		
ウ. コンテンツの充実と情報発信の推進	1. アドベンチャーツーリズムの推進		【民間事業者、箱根DMO】ルート造成のスキーム構築 【民間事業者、箱根DMO】ツアー内容のブラッシュアップ 【環境省】コンテンツガイドライン活用支援、モデルコース作成支援、法令関係確認、各種調整による取組支援	【民間事業者、箱根DMO】情報発信、ツアー実施		
	2. 芦ノ湖での水上アクティビティ教室の開催		【芦ノ湖漁協協同組合】実施内容の検討		【芦ノ湖漁協協同組合】実施、内容のブラッシュアップ	

プロジェクト	実施内容	実施時期の目標				
		令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度
ウ.コンテンツの充実と情報発信の推進	3.電子化された遊漁券と観光施設が連携する取組推進		【芦ノ湖漁協協同組合】 電子化された遊漁券の利用促進（普及率アップ）に向けた情報発信			
				【芦ノ湖漁協協同組合】 アウトドア目的の来訪者への展開検討		
				【芦ノ湖漁協協同組合】 観光施設との連携による電子周遊チケット化に向けた検討		
	4.他エリアとの差別化を意識した情報発信に係る協議		【箱根 DMO】 WEB サイト構築(日英)	【箱根 DMO】 コンテンツ随時追加		
			【箱根町、箱根 DMO、環境省】 箱根のサステナブルツーリズムに対する一体的な情報発信に係る連携の推進			
		【民間事業者】 交通施設等においてインバウンドを含む来訪者が利用可能な公衆 Wi-Fi の整備				

プロジェクト	実施内容	実施時期の目標				
		令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度
エ. 質の高い人材 担い手となる人材の育成	1. セミナー、体験会等の学びの 機会の創出、開催	【箱根町、箱根 DMO】 箱根 DMO 認定ガイド育成講座				
				【箱根町、箱根 DMO】 新たな学びの機会創出に向けての検討		
		【環境省】 ガイド育成講座への協力、自然に親しむ運動イベントを通じた新たな学びの機会の創出				
				【環境省、民間事業者】 生態系保全等専門員の講師派遣、シカや箱根の自然環境を活かした環境教育の提供、情報共有、モニタリング調査の機会創出		
	2. ガイドを実践できる質の高い 人材の育成	【箱根 DMO】 箱根 DMO 認定ガイド育成講座				
				【箱根 DMO】 今後のガイド育成について検討		
	3. ガイド間の連携の強化の推進	【箱根 DMO】 箱根 DMO 認定 AT ガイドによる ワークショップ開催	【箱根 DMO】 2 期生 AT ガイド誕生	【箱根 DMO】 3 期生 AT ガイド誕生		
			参加	参加		

②滞在・周遊により特色ある魅力を体験できる国立公園

プロジェクト	実施内容	実施時期の目標				
		令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度
ア. ハイキングコースや歩道等の環境整備と情報発信の推進	1.魅力的なハイキングコースの整理		【箱根DMO】 ハイキングコース調査	【箱根DMO、箱根VC、民間事業者】 登山道整備あり方検討、整備実施		
	2.外国語対応も含めたハイキングに関する情報発信		【箱根DMO】 サステナブルWEBサイト公開	【箱根DMO】 情報更新		
	3.芦ノ湖西岸側歩道(湖尻周辺エリアを含む)についての協議、取組推進に係る協議	箱根地域協議会での議論 「畑引山集団施設地区の活用に関する方向性の検討・あり方(案)」の作成	【箱根町、神奈川県、林野庁、環境省、民間事業者】 箱根地域協議会による方向性の検討	【箱根町、神奈川県、林野庁、環境省、民間事業者】 地元関係者や関係機関との調整	ビューポイント等の景観整備に係る検討・実施	
	4.ジオパークや他地域を繋ぐ道の整備について協議、検討		【箱根町/箱根DMO】 箱根八里のレガシー形成可能性調査の実施	【箱根町/箱根DMO】 箱根八里での取組検討(実証実験等)	【環境省】 利用過密地域である箱根地域と周辺地域(伊豆半島、富士山西麓等)をつなぐ富士箱根伊豆国立公園を代表するモデルコースの作成支援	【箱根を守る会】 旧東海道を歩くルート(箱根町および周辺市町村)の調査

プロジェクト	実施内容	実施時期の目標				
		令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度
イ. 混雑回避、周遊促進のための取組の推進	1. 一元的な情報発信の推進	【箱根 DMO】箱根全山 HP 上に道路混雑情報の表示 →	【箱根 DMO】大涌谷パーク＆ライドの実施 →	【箱根 DMO】パーク＆シップ実施 →	【箱根 DMO】大涌谷パーク＆ライド調査(11月) →	【民間事業者】自社等 web サイトにおける混雑予報、混雑情報等の発信 →
	2. 観光型 MaaS の推進	【小田急箱根ホールディングス】 観光型 MaaS の取組実施、利用者に向けた情報発信 →				
	3. サブスクリプション型の利用チケット発売と参加施設拡大	【小田急箱根ホールディングス】 サブスクリプション型の利用チケット発売、利用者 →				
ウ. 宿泊や滞在時間の増加につながるコンテンツの開発強化と情報発信	1. モーニングタイム、ナイトタイムの利用推進	【民間事業者、箱根 DMO】 事業計画作成、実証実験 →		【民間事業者、箱根 DMO】 順次検討、取組実施 →		【環境省】 法令関係確認、取組支援 →
	2. 安全確保をした形での大涌谷自然研究路におけるプログラムづくりに係る協議	【箱根町、箱根 DMO、神奈川県（大涌谷園地安全対策協議会）】 引率入場の実施、実施結果を踏まえた内容変更、路線の維持管理等 →				

プロジェクト	実施内容	実施時期の目標				
		令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度
ウ. 宿泊や滞在時間の増加につながるコンテンツの開発強化と情報発信	3.各地区内での周遊促進のためのマップ等制作、情報発信		【箱根DMO】 観光ガイドブック発行	【箱根DMO】 観光ガイドブック発行（継続）		
			【箱根DMO、民間事業者】 箱根観光サイト「箱根全山」への掲載情報提供・情報公開（継続）			
			【箱根パークボランティア・箱根ボランティア解説員連絡会】 開花状況等の自然情報収集、発信			
エ. 来訪者の安全確保と、安心・安全な観光地であることの国内外への情報発信	1.登山者や観光客の安全確保のために必要な方策、取組推進に係る協議		【箱根町、箱根DMO】 防災アンケート実施			
	2.安全・安心な観光地であることの国内外への情報発信	【箱根町、箱根DMO】 エリア別観光客待機場所キャパ算出	【箱根町、箱根DMO】 観光客向け待機場所確保、調整			
オ. 箱根エリア全体での情報共有、エリア内での連携推進と強化	1.情報共有、意見交換、体験活動等の機会創出	【箱根DMO】 箱根DMO戦略推進委員会の開催による検討、情報交換				
			【環境省、民間事業者】 生態系保全等専門員の講師派遣、シカや箱根の自然環境を活かした環境教育の提供、情報共有、モニタリング調査の機会創出			
	2.エリア内での連携の強化	【箱根DMO】 箱根DMO戦略推進委員会の開催による検討、情報交換				

③脱炭素・循環型の取組を先導する国立公園

プロジェクト	実施内容	実施時期の目標				
		令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度
ア. 環境学習のフィールドとしての利用や情報発信の推進	1. マナーやルール等の啓発のための教室開催		【箱根 DMO】 サマーキャンプ実施 →	【箱根 DMO】 サマーキャンプ実施（継続） →		
			【箱根 DMO】 焚火イベント実施 →	【箱根 DMO】 焚火イベント実施（継続） →		
			【箱根 DMO】 夏休みこどもジオ講座の実施 →			
			【箱根 DMO】 Leave No Trace トレーナークラス開催 →			
	2. 町民参加型の環境保全活動の企画・イベント開催		【箱根町、箱根 DMO、環境省】 登山道補修のあり方検討 →			
			【箱根町、箱根 DMO、環境省】 登山道補修ボランティア活動のインセンティブの強化 →			
				【環境省】 具体的な取組を実施するための法令関係確認、取組支援 →		
					【環境省、民間事業者】 生態系保全等専門員の講師派遣、植生保護柵の設置イベントの開催 →	
		【民間事業者】 宿泊事業者を中心とした「箱根クリーン作戦」の合同実施による環境改善および意識向上 →				
	3. 教育現場における環境学習の動向把握、体験フィールドとしての箱根の情報発信					
				③ア1と連動して実施		



プロジェクト	実施内容	実施時期の目標				
		令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度
イ. 脱プラスチック、再生可能エネルギー利用の促進	1. 脱プラスチックに向けた取組推進	<p>&lt;事業者向け&gt; 【箱根町、箱根 DMO】 透明リサイクルボックス 60 台設置</p> <p>&lt;町民向け&gt; 【箱根町、箱根 DMO】 アクションプラン検討</p>	<p>【箱根町、箱根 DMO】 追加設置施設選定</p> <p>【箱根町、箱根 DMO】 ボックス購入</p> <p>【箱根町、箱根 DMO】 アクションプラン検討</p> <p>【箱根町、箱根 DMO】 実行</p> <p>【環境省】公園事業施設への追加設置支援・調整</p> <p>【民間事業者】宿泊施設等におけるペットボトルの削減、アメニティの配置方法の変更等</p>	<p>【箱根町、箱根 DMO】 追加設置施設拡大検討</p> <p>【箱根町、箱根 DMO】追加設置</p> <p>【箱根町、箱根 DMO】 検証・次年度取り組み検討</p>		
	2. 再生可能エネルギーの利用検討	<p>【箱根町、箱根 DMO、環境省】環境省地域循環共生圏 PJT 始動 曼荼羅図作成</p>	<p>【箱根町、箱根 DMO、環境省】 地域循環共生圏 PJT</p> <p>【環境省】 実施に向けた調整・支援</p>	<p>【箱根町、箱根 DMO、環境省】 再生可能エネルギーとなりうる資源の検討継続</p> <p>【箱根町、箱根 DMO、環境省、民間事業者】 自然循環のマネジメント・ゼロウェイストへの取組</p> <p>【民間事業者】 再生可能エネルギー設備の導入</p>		

プロジェクト	実施内容	実施時期の目標				
		令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度
ウ. 持続可能な観光(サステナブルツーリズム)の推進	1.サステナブルツーリズムの推進		【箱根 DMO】 資源調査(ハイキングコース)			
			【箱根 DMO】 ガイドステップアップ講習	【箱根 DMO】 ガイドステップアップ講習の継続		
			【箱根 DMO】 WEB サイト作成	【箱根 DMO】 WEB サイト内容の情報更新		
			【箱根 DMO】 モデルコース造成			
			【環境省】 コンテンツガイドライン活用支援、モデルコース作成支援、法令関係確認、各種調整による取組支援			
			【民間事業者】 JA との連携を通じた、観光施設での非流通作物、地域食材等の活用			

### 3.2 アクションプラン 取組個票

各プロジェクトの取組個票は以下の通りである。

<取組個票>		① 上質化された魅力を快適に満喫できる国立公園	
プロジェクト	ア. 箱根エリア内の主要地点における景観の改善・向上	番号	①ア-1 ①ア-2
実施内容	1.景観改善が必要な地点の整理に係る協議 2.景観改善に向けた取組推進に係る協議		
実施主体	1.箱根町、神奈川県、環境省 2.民間事業者、箱根町、神奈川県、環境省		
関連施策	①ア-3、①ア-4		
取組の目的	箱根エリア内において、積極的に樹木管理をし常に景観向上の保全を図るべき地点について、景観イメージを損ねるような状況を改善する。		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>改善が必要な地点の整理に向けた協議を進める。</li> <li>協議により整理された、箱根エリアの景観イメージを損ねるような状況となっている地点について、改善に向けた具体的な取組を実施するための協議を進め、取組を実施する。</li> <li>仙石原湿原の草原景観について、湿原保全行政連絡会議における議論や調整状況を踏まえ、各主体が景観保護、生態系の維持に向けた取組を実施する。</li> </ul>		
実施場所・対象地	実施場所・対象地		具体的な場所
	箱根エリア全体	○	エリア内の道路沿い、箱根八里沿線、畑引山集団施設地区及び周辺など
	一部	○	仙石原湿原
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>2023年度までに、改善が必要な地点を整理</li> <li>2025年度までに、改善のための取組を順次実施</li> </ul>		

#### 取組の現状と今後の予定・計画

		2021 (令和3年度)	2022 (令和4年度)	2023 (令和5年度)	2024 (令和6年度)	2025 (令和7年度)
スケジュール	箱根町、神奈川県、環境省	箱根地域協議会での議論	箱根地域協議会作業部会での景観改善が必要な地点の整理			
	民間事業者、箱根町、神奈川県、環境省	アクションプランのプロジェクトとして位置づけ	協議会に「景観の改善・向上作業部会」を設置	箱根地域協議会作業部会での具体的な取組を実施するための協議、取組実施		
	環境省			具体的な取組を実施するための法令関係確認		
	箱根町、神奈川県、環境省	仙石原湿原保全行政連絡会議による、湿原生態系の保全、景観保護を目的とした計画策定、取組等				
進捗状況	※次年度以降のフォローアップに使用	「ステップアッププログラム2025」策定のための協議会での議論の中で、特に取り組みの重要性が指摘され、アクションプランのプロジェクトとして位置づけ。	箱根地域協議会に「景観の改善・向上作業部会」を設置し、議論。	仙石原湿原：湿原モニタリング調査（植生）	仙石原湿原：湿原モニタリング調査（動植物等）	仙石原湿原：湿原モニタリング調査（植生）
想定している予算措置						

<取組個票>

①上質化された魅力を快適に満喫できる国立公園

プロジェクト	ア. 箱根エリア内の主要地点における景観の改善・向上		番号	①ア-3 ①ア-4
実施内容	3.景観イメージの更なる向上に繋がる地点の整理に係る協議 4.景観向上のための取組推進に係る協議			
実施主体	3.箱根町、神奈川県、環境省 4.民間事業者、箱根町、神奈川県、環境省			
関連施策	①ア-1、①ア-2			
取組の目的	箱根エリア内において、樹木の修景伐採を一定程度実施することで芦ノ湖への眺望が確保可能な地点など、箱根エリアの景観イメージの更なる向上を図る。			
取組内容	・景観イメージの向上に繋がる地点の整理に向けた協議を進める。 ・協議により整理された、箱根エリアの景観イメージの更なる向上に繋がる地点について、景観向上への具体的な取組を実施するための協議を進め、取組を実施する。			
実施場所・対象地	実施場所・対象地		具体的な場所	
	箱根エリア全体	○	エリア内の道路沿い、箱根八里沿線、畑引山集団施設地区及び周辺など	
	一部			
目標	・2023年度までに、景観向上に繋がる地点を整理 ・2025年度までに、景観向上のための取組を順次実施			

取組の現状と今後の予定・計画

		2021（令和3年度）	2022（令和4年度）	2023（令和5年度）	2024（令和6年度）	2025（令和7年度）
スケジュール	箱根町、神奈川県、環境省	箱根地域協議会での議論	箱根地域協議会作業部会での景観向上に繋がる地点の整理			
	民間事業者、箱根町、神奈川県、環境省	アクションプランのプロジェクトとして位置づけ	協議会に「景観の改善・向上作業部会」を設置		箱根地域協議会作業部会での具体的な取組を実施するための協議・取組実施	
	環境省			具体的な取組を実施するための法令関係確認		
進捗状況	※次年度以降のフォローアップに使用	「ステップアッププログラム2025」策定のための協議会での議論の中で、特に取り組みの重要性が指摘され、アクションプランのプロジェクトとして位置づけ。	箱根地域協議会に「景観の改善・向上作業部会」を設置し、議論。			
想定している予算措置	神奈川県、箱根町による伐採事業、樹種転換事業					

<取組個票>

① 上質化された魅力を快適に満喫できる国立公園

プロジェクト	イ. 畑引山集団施設地区（箱根やすらぎの森、森のふれあい館、白浜、道の駅箱根峠）の保全と利用の推進		番号	①イー-1 ①イー-2
実施内容	1. 保全と利用促進の方策についての協議、取組推進 2. 連携による管理・運営方策についての協議、取組推進			
実施主体	(1、2とも) 箱根町、箱根DMO、環境省			
関連施策	②ア-3			
取組の目的	アウトドア拠点としての利活用、森林セラピー体験の促進、フィールド・ミュージアムとしての活用、民間企業と連携したアウトドアイベントでの活用など、当地区が有する豊かな自然の保全と利用を促進する。			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畑引山集団施設地区の今後の方向性について、関係者により協議し、地域連携により取組を推進する。</li> <li>・箱根やすらぎの森、森のふれあい館、白浜、道の駅箱根峠について、その保全と活用がより積極的に実施できるよう、豊かな自然・景観・施設の魅力を地域が連携して磨きあげることで、より一層の利用推進に取り組み、集客を拡大する。</li> </ul>			
実施場所・対象地	実施場所・対象地		具体的な場所	
	箱根エリア全体	-		
	一部	○	畑引山集団施設地区	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2023年度、箱根やすらぎの森について実施できる所から取組実施</li> <li>・2023年度、森のふれあい館のリニューアル内容検討、順次整備着手</li> </ul>			

取組の現状と今後の予定・計画

		2021（令和4年度）	2022（令和4年度）	2023（令和5年度）	2024（令和6年度）	2025（令和7年度）
スケジュール	箱根町、箱根DMO、環境省	箱根地域協議会での議論	箱根地域協議会による方向性の検討			
	箱根町			箱根やすらぎの森について、実施できる所から取組実施		
	箱根DMO			森のふれあい館のリニューアル内容検討、整備着手		
	環境省			リニューアル後の森のふれあい館の運営方法検討		
進捗状況	※次年度以降のフォローアップに使用	令和3年度富士箱根伊豆国立公園箱根地域適正利用推進体制整備業務（環境省）において、箱根地域協議会での議論、それを踏まえた「畑引山集団施設地区の活用に関する方向性の検討あり方（案）」の作成を実施。	令和4年度富士箱根伊豆国立公園箱根地域適正利用推進体制整備業務（環境省）において、箱根地域協議会での議論、それを踏まえた「国立公園利用拠点計画（案）」の作成を実施。	畑引山集団施設地区の眺望の改善 令和5年度 1.53ha実施予定 【参考】 令和4年度 1.58ha やすらぎの森園内の休憩施設の整備 令和5年度 補修 37基 撤去 5基		
想定している予算措置	環境省国立公園利用点滞在環境等上質化事業、環境省国立公園利用施設の脱炭素化推進支援事業、観光庁地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業、箱根町予算					

<取組個票> ①上質化された魅力を快適に満喫できる国立公園

プロジェクト	ウ. コンテンツの充実と情報発信の推進	番号	①ウ-1
実施内容	1.アドベンチャーツーリズムの推進		
実施主体	民間事業者、箱根DMO、環境省		
関連施策	①ウ-4		
取組の目的	箱根エリアの豊かな自然や歴史、文化を活用したアドベンチャーツーリズムを推進する。		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FAMツアー実施を通じたルート造成のスキーム構築</li> <li>・ツアー内容のブラッシュアップ、情報発信</li> </ul>		
実施場所・対象地	実施場所・対象地		具体的な場所
	箱根エリア全体	○	箱根八里沿線、箱根外輪山等
	一部		
目標			

取組の現状と今後の予定・計画

		2021（令和3年度）	2022（令和4年度）	2023（令和5年度）	2024（令和6年度）	2025（令和7年度）
スケジュール	民間事業者 箱根DMO		ルート造成のスキーム構築 ツアー内容のブラッシュアップ	情報発信、ツアー実施		
	環境省		コンテンツガイドライン活用支援、モデルコース作成支援、法令関係確認、各種調整による取組支援			
進捗状況	※次年度以降のフォローアップに使用		2022年 観光庁「サステナブルな観光コンテンツ強化モデル事業」において、ルート造成のスキーム構築とルート造成を実施	箱根DMO認定ガイド育成の最終年度として、延べ22人のATプロガイドが誕生。 令和5年度観光庁サステナブルな観光に資する好循環の仕組みづくりモデル事業を活用し、AT関連コンテンツを作成している。		
想定している予算措置	環境省各公園ストーリーを体験できるモデルコース作成業務					

<取組個票>

① 上質化された魅力を快適に満喫できる国立公園

プロジェクト	ウ. コンテンツの充実と情報発信の推進	番号	①ウー2
実施内容	2. 芦ノ湖での水上アクティビティ教室の開催		
実施主体	民間事業者（芦之湖漁業協同組合）		
関連施策	③アー1		
取組の目的	芦ノ湖の魅力をより楽しむことが出来るような、箱根エリアの新たなコンテンツを開発する。		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芦ノ湖で水上アクティビティ教室を開催する。</li> <li>・将来における新たなコンテンツ開発に向け、他民間事業者のアウトドア事業への協力等を通じて、小人数を対象とした試行的な体験事業を提供し、実施内容の検討を進める。</li> </ul>		
実施場所・対象地	実施場所・対象地		具体的な場所
	箱根エリア全体	-	
	一部	○	芦ノ湖
目標			

取組の現状と今後の予定・計画

		2021（令和3年度）	2022（令和4年度）	2023（令和5年度）	2024（令和6年度）	2025（令和7年度）
スケジュール	民間事業者 （芦之湖漁業 協同組合）		実施内容の検討		実施、内容のブラッシュアップ	
進捗状況	※次年度以降 のフォローアップ に使用		養魚場等の施設を活用 した試行的な体験事業を 実施。			
想定している予算措置						

① 上質化された魅力を快適に満喫できる国立公園						
プロジェクト	ウ. コンテンツの充実と情報発信の推進					
実施内容	3.電子化された遊漁券と観光施設が連携する取組推進					
実施主体	民間事業者（芦之湖漁業共同組合）					
関連施策	②イ-3					
取組の目的	箱根エリアの各種観光施設を楽しめるよう、利便性を向上させる。					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子化された遊漁券の利用者増加（普及率アップ）に向けた取組</li> <li>・アウトドア目的の来訪者（ハイキング、ウォーキング、ランニング、マウンテンバイク等）への展開検討（GPS情報が把握できるため、事故時の救助等に活用可能）</li> <li>・箱根エリア内各種観光施設との連携、電子周遊チケット化（※連携が必要となる主体） <ul style="list-style-type: none"> <li>水産試験場、内水面連合会、神奈川県（水産課）、箱根町、</li> <li>民間事業者（小田急箱根ホールディングス、芦ノ湖エリアの各種観光施設運営事業者）</li> </ul> </li> </ul>					
実施場所・対象地	実施場所・対象地					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">実施場所・対象地</th> <th style="width: 50%;">具体的な場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>箱根エリア全体</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>一部</td> <td style="text-align: center;">○ 芦ノ湖</td> </tr> </tbody> </table>	実施場所・対象地	具体的な場所	箱根エリア全体	-	一部
実施場所・対象地	具体的な場所					
箱根エリア全体	-					
一部	○ 芦ノ湖					
目標	・2025年度までに、観光施設との連携による電子周遊チケット化の実現					

**取組の現状と今後の予定・計画**

		2021（令和3年度）	2022（令和4年度）	2023（令和5年度）	2024（令和6年度）	2025（令和7年度）
スケジュール	民間事業者（芦之湖漁業共同組合）		電子化された遊漁券の利用促進（普及率アップ）に向けた情報発信			
			アウトドア目的の来訪者への展開検討			
			観光施設との連携による電子周遊チケット化に向けた検討			
進捗状況	※次年度以降のフォローアップに使用	遊漁券について、これまで提携店で紙のチケットを発行していたものを、2021年11月より電子決済で購入可能な電子チケットの販売を開始（時間を気にせず購入できるなど利用者の利便性のアップ、GPS信号により購入者がどこで釣りをしているか把握が可能となり、組合のパトロール等の負担軽減）。	電子チケットについて、日釣り券で5%、年間パスポートで20%程度の普及率（22年10月時点）※業界的には予想以上の普及率とのこと。	普及啓発取組により、電子遊漁券の利用率向上がみられる（3月の特別解禁釣大会は申込段階で半数程度が電子）さらなるデータ活用に向け、利用中のGPSオンの推進について、アプリ提供事業者とも連携しつつ実施。民間事業者との連携により、遊漁券を提示すると日帰り入浴が特別価格となる事業を実施。遊漁者にとって需要のある夕方時間帯にも受け入れを頂いている。		
想定している予算措置						



<取組個票>

①上質化された魅力を快適に満喫できる国立公園

プロジェクト	ウ. コンテンツの充実と情報発信の推進	番号	①ウー4
実施内容	4.他エリアとの差別化を意識した情報発信に係る協議		
実施主体	民間事業者、箱根町、箱根DMO、神奈川県、環境省		
関連施策	②ア-1		
取組の目的	箱根エリアのメインターゲットである首都圏やインバウンドなどに向け、国立公園としての認知度の向上に繋がる取組を関係者により協議し、首都圏周辺の他のエリアとの差別化を意識した情報発信を推進する。		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・箱根サステナブルツーリズムWEBサイト(日本語、英語)を観光庁事業「サステナブルな観光コンテンツ強化モデル事業」内で作成。</li> <li>・箱根におけるサステナブルな取組や、ガイド紹介を掲載。</li> <li>・インバウンドを含む来訪者が、周遊情報の取得、周遊チケットの提示、SNS等での情報発信等を支障なく行える公衆Wi-Fiの整備</li> </ul>		
実施場所・対象地	実施場所・対象地	具体的な場所	
	箱根エリア全体	○	
	一部	-	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者ヒアリングによる箱根のサステナブルツーリズムに対するビジョン策定、WEBサイトによる発信</li> <li>・箱根独自のサステナブルツーリズムに資する取組を紹介する、WEBサイトを基盤としたプラットフォームの完成。</li> </ul>		

取組の現状と今後の予定・計画

		2021 (令和3年度)	2022 (令和4年度)	2023 (令和5年度)	2024 (令和6年度)	2025 (令和7年度)
スケジュール	箱根DMO		WEBサイト構築 (日英)	コンテンツ随時追加		
	箱根町、箱根DMO、環境省			箱根のサステナブルツーリズムに対する一体的な情報発信に係る連携の推進		
	民間事業者	交通施設等においてインバウンドを含む来訪者が利用可能な公衆Wi-Fiの整備				
進捗状況	※次年度以降のフォローアップに使用		2022年 観光庁「サステナブルな観光コンテンツ強化モデル事業」において、箱根におけるサステナブルな取組を紹介するWEBサイトの作成	令和5年度観光庁サステナブルな観光に資する好循環の仕組みづくりモデル事業を活用し、AT関連コンテンツやガイド情報などを箱根DMOオウンドメディアで展開。		
想定している予算措置	観光庁サステナブルな観光コンテンツ強化モデル事業					

<取組個票>

① 上質化された魅力を快適に満喫できる国立公園

プロジェクト	I. 質の高い人材、担い手となる人材の育成		番号	①E-1
実施内容	1. セミナー、体験会等の学びの機会の創出、開催			
実施主体	民間事業者、箱根町、箱根DMO、環境省			
関連施策	①E-2			
取組の目的	豊かな自然、歴史、文化をはじめとした箱根エリアの様々な魅力を再発見し、その魅力を発信したいと考える方を増やし、更には関係人口の拡大へと繋げていく。			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・箱根エリアに住む人、働く人、訪れる人などを対象とした箱根の自然、歴史、文化についてのセミナー・体験会等を開催する。</li> <li>・箱根DMO認定ガイド講習内魅力再発見コースでは、箱根を熟知した講師陣から、長い間育まれてきた箱根の魅力を学んでもらうプログラムを実施。</li> </ul>			
実施場所・対象地	実施場所・対象地		具体的な場所	
	箱根エリア全体	○		
	一部	-		
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・箱根DMO認定ガイド育成講座内「魅力再発見コース」3年連続定員達成</li> <li>・新たな学びの機会創出</li> </ul>			

取組の現状と今後の予定・計画

		2021 (令和3年度)	2022 (令和4年度)	2023 (令和5年度)	2024 (令和6年度)	2025 (令和7年度)
スケジュール	箱根町 箱根DMO	箱根DMO認定ガイド育成講座				
				新たな学びの機会創出に向けての検討		
	環境省	ガイド育成講座への協力、自然に親しむ運動イベントを通じた新たな学びの機会の創出				
	環境省 民間事業者	生態系保全等専門員の講師派遣、シカや箱根の自然環境を活かした環境教育の提供、情報共有、モニタリング調査の機会創出				
進捗状況	※次年度以降のフォローアップに使用	(箱根DMO) 「箱根DMO認定ガイド育成プロジェクト」を開始。基本はガイドを育成するためのプログラムであるが、3コースのうちの1つ「魅力再発見コース」は、箱根の自然・文化・歴史に興味があり、その魅力を発信したいと考えている方向け（ガイドを目指してはいない人も含む）に実施。全20回、計74名参加。	(箱根DMO) 同プロジェクトの継続実施	(箱根DMO) 同プロジェクトの継続実施  (環境省) Hakone Deer Actionによる「箱根シカ塾」を計2回開催（セブンイレブン記念財団助成事業） 11月5日（箱根地域内の事業者、小中学生等を対象） 2月4日（箱根地域のガイド、セブンイレブンの従業員等を対象）		
想定している予算措置						

<取組個票>

①上質化された魅力を快適に満喫できる国立公園

プロジェクト	I. 質の高い人材、担い手となる人材の育成		番号	①E-2
実施内容	2.ガイドを实践できる質の高い人材の育成			
実施主体	箱根DMO			
関連施策	①E-1、①E-3			
取組の目的	若手のガイドやアフターコロナを見据えた英語ガイド養成のための研修会を開催する等、箱根でガイドを实践できる質の高い人材の育成を推進する。			
取組内容	箱根DMO認定ガイド育成プログラムの実施			
実施場所・対象地	実施場所・対象地		具体的な場所	
	箱根エリア全体	○	エリア内の道路沿い、箱根八里沿線、畑引山集団施設地区及び周辺など	
	一部	-		
目標				

取組の現状と今後の予定・計画

		2021 (令和3年度)	2022 (令和4年度)	2023 (令和5年度)	2024 (令和6年度)	2025 (令和7年度)
スケジュール	箱根DMO	箱根DMO認定ガイド育成講座				
				今後のガイド育成について検討		
進捗状況	※次年度以降のフォローアップに使用	「箱根DMO認定ガイド育成プロジェクト」を開始。3コースのうち「観光プロガイドコース」では、既にガイドを行っている方、これから箱根でガイドを始めたい人向けに、「英語ATガイドコース」では、世界水準で箱根に精通したプロフェッショナルATガイドの育成を実施。24名の国内観光ガイド、10名のATガイドを認定。	同プロジェクトの継続実施	同プロジェクトの継続実施		
想定している予算措置	箱根町予算、箱根DMO予算					

<取組個票> ①上質化された魅力を快適に満喫できる国立公園

プロジェクト	I. 質の高い人材、担い手となる人材の育成		番号	①I-3
実施内容	3.ガイド間の連携の強化の推進			
実施主体	箱根DMO			
関連施策	①I-1、①I-2			
取組の目的	箱根で活動しているガイド間の連携を強化し、研鑽を図る。			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・箱根DMO認定ガイド間で、ガイドが主体となり実踏ワークショップを定期開催</li> <li>・活動内容をSNSグループ内で報告</li> </ul>			
実施場所・対象地	実施場所・対象地		具体的な場所	
	箱根エリア全体	○	箱根エリアのハイキングコース	
	一部	-		
目標	箱根DMOガイド育成計画(3か年)			

取組の現状と今後の予定・計画

		2021 (令和3年度)	2022 (令和4年度)	2023 (令和5年度)	2024 (令和6年度)	2025 (令和7年度)
スケジュール	箱根DMO		2期生ATガイド誕生 ↓ 参加	3期生ATガイド誕生 ↓ 参加	箱根DMO認定ATガイドによるワークショップ開催	
進捗状況	※次年度以降のフォローアップに使用		2021年度に誕生した箱根DMO認定ATガイドが中心となり、自ら計画立て、実踏を行った。	箱根観光ガイド協会でガイド主体の研修を毎月開催。実際にそれぞれのガイドリングを見せあつて研鑽を積んでいる。ここでの知見をスマホで見られるように仕上げている。		
想定している予算措置	箱根町予算、箱根DMO予算、観光庁サステナブルな観光コンテンツ強化モデル事業					

<取組個票>

②滞在・周遊により特色ある魅力を体験できる国立公園

プロジェクト	ア. ハイキングコースや歩道等の環境整備と情報発信の推進	番号	②ア-1 ②ア-2
実施内容	1.魅力的なハイキングコースの整理 2.外国語対応も含めたハイキングに関する情報発信		
実施主体	1.箱根DMO、箱根ビジターセンター、民間事業者 / 2.箱根DMO		
関連施策	①ウ-4、②ア-2		
取組の目的	魅力的なハイキングコースの整理をはじめ、関係者による協議及び整備のための取組を推進する。 また、日本人旅行者も外国人旅行者も楽しめるよう、ウェブサイトやパンフレット、案内標識などでのハイキングに関する情報発信を外国語対応も含めて推進する。		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンド目線でのハイキングコースの調査 (芦ノ湖周辺、旧東海道箱根八里、湯坂路、外輪山西回り・東回り)</li> <li>・持続可能な登山道整備の実施(近自然工法の体験、導入検討および導入)</li> <li>・一般参加者(観光客、企業等)を含む登山道整備のあり方、実施方法等の検討</li> <li>・箱根サステナブルツーリズムWEBサイトでの公開</li> </ul>		
実施場所・対象地	実施場所・対象地		具体的な場所
	箱根エリア全体	○	エリア内の道路沿い、箱根八里沿線、畑引山集団施設地区及び周辺など
	一部	-	
目標	・魅力的なハイキングコースの整理をするとともに、登山道整備を継続的に実施していくための仕組みの構築		

取組の現状と今後の予定・計画

		2021 (令和3年度)	2022 (令和4年度)	2023 (令和5年度)	2024 (令和6年度)	2025 (令和7年度)
スケジュール	箱根DMO		<ul style="list-style-type: none"> <li>ハイキングコース調査</li> <li>サステナブルWEBサイト公開</li> </ul>	情報更新		
	箱根DMO、箱根ビジターセンター			登山道整備のあり方、実施方法等検討		
	箱根DMO、箱根ビジターセンター、民間事業者		登山道補修 (近自然工法体験会、導入検討および導入)			
進捗状況	※次年度以降のフォローアップに使用		インバウンド目線でのハイキングコースの調査実施 ゴールドウインを通じて近自然工法の先進地大雪山山守隊岡崎氏を招聘し、勉強会実施	ハイキングコースの整備は箱根町で毎月1-2回実施。坊が沢、駒ヶ岳山頂付近。ゴールドウインの社員にも参加してもらい、継続している。各会20人程度の参加者。		
想定している予算措置	観光庁サステナブルな観光コンテンツ強化モデル事業					

<取組個票>

②滞在・周遊により特色ある魅力を体験できる国立公園

プロジェクト	ア. ハイキングコースや歩道等の環境整備と情報発信の推進		番号	②ア-3
実施内容	3. 芦ノ湖西岸側歩道（湖尻周辺エリアを含む）についての協議、取組推進に係る協議			
実施主体	箱根町、神奈川県、林野庁、環境省、民間事業者			
関連施策	①イ-1			
取組の目的	芦ノ湖の西岸側歩道について、歩行者の安全確保に向け、関係者により協議し、環境整備に係る取組を推進する。			
取組内容	芦ノ湖をはじめとした湖畔景観を歩行者が安全・安心して満喫出来るようにするため、県道737号の活用方法について車両の規制など関係者で協議する。環境整備の一環として、ビューポイントでの景観整備について検討・実施する。			
実施場所・対象地	実施場所・対象地		具体的な場所	
	箱根エリア全体		-	
	一部		○ 芦ノ湖西岸側歩道	
目標				

取組の現状と今後の予定・計画

		2021（令和3年度）	2022（令和4年度）	2023（令和5年度）	2024（令和6年度）	2025（令和7年度）
スケジュール	箱根町、神奈川県、林野庁、環境省	箱根地域協議会での議論	箱根地域協議会作業部会による方向性の検討		ビューポイント等の景観整備に係る検討・実施	
	環境省			地元関係者や関係機関との調整		
	民間事業者（HAKONE UNITED）	湖尻エリアを含む芦ノ湖西岸一帯でのハイクアンドクリーンの実施				
進捗状況	※次年度以降のフォローアップに使用	令和3年度富士箱根伊豆国立公園箱根地域適正利用推進体制整備業務（環境省）において、箱根地域協議会での議論、それを踏まえた「畑引山集団施設地区の活用に関する方向性の検討あり方（案）」の作成を実施。	令和4年度富士箱根伊豆国立公園箱根地域適正利用推進体制整備業務（環境省）において、箱根地域協議会（西岸・白浜アクセス作業部会）での議論、それを踏まえた「国立公園利用拠点計画（案）」の作成を実施。	芦ノ湖西岸側歩道について、神奈川県、林野庁、環境省合同で現地踏査を実施。景観や眺望の改善に係る意見交換を実施。		
想定している予算措置						

<取組個票>

②滞在・周遊により特色ある魅力を体験できる国立公園

プロジェクト	ア. ハイキングコースや歩道等の環境整備と情報発信の推進		番号	②ア-4
実施内容	4. ジオパークや他地域を繋ぐ道の整備について協議、検討			
実施主体	箱根町、箱根DMO、環境省、箱根を守る会			
関連施策				
取組の目的	箱根エリアだけでなく、他地域への周遊を促進することで、オーバーユースによる環境への負荷を軽減し、地域間の周遊促進も図り、公園全体として効果的でバランスのとれた誘客を図る			
取組内容	当国立公園内にはジオパークが3か所（箱根、伊豆半島、伊豆大島）あり、箱根ジオパークと伊豆半島ジオパークについては隣接しており、周辺ではロングトレイルの取組が進められていることから、自然環境や安全な通行に配慮したジオパークや他地域を繋ぐ道の整備について、関係者により協議し、検討する。 また、小田原～三島を繋ぐ箱根八里についても、ロングトレイルとしての環境整備について関係者間の協議を推進するとともに、ルート上における危険箇所等の洗い出しを行う。			
実施場所・対象地	実施場所・対象地		具体的な場所	
	箱根エリア全体 一部		○	箱根ジオパークと伊豆半島ジオパークの接続地点周辺
目標				

取組の現状と今後の予定・計画

		2021（令和3年度）	2022（令和4年度）	2023（令和5年度）	2024（令和6年度）	2025（令和7年度）
スケジュール	箱根町、箱根DMO		箱根八里のレガシー形成可能性調査の実施	箱根八里での取組検討（実証実験等）		
	環境省			利用過密地域である箱根地域と周辺地域（伊豆半島、富士山西麓等）をつなぐ富士箱根伊豆国立公園を代表するモデルコースの作成支援		
	箱根を守る会			ルート踏査、危険箇所等の洗い出し 周辺自治体への働きかけ		
進捗状況	※次年度以降のフォローアップに使用			日本遺産に指定されている箱根八里旧東海道について、「箱根八里街道推進協議会」に小田原箱根三島両南の各観光協会主体のワーキンググループを新設し、次年度以降の活用について協議を重ねている。（4回実施）		
想定している予算措置	環境省各公園ストーリーを体験できるモデルコース作成業務、観光庁インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業					

<取組個票>

②滞在・周遊により特色ある魅力を体験できる国立公園

プロジェクト	イ. 混雑回避、周遊促進のための取組の推進		番号	②イ-1
実施内容	1. 一元的な情報発信の推進			
実施主体	箱根DMO、自然公園財団、民間事業者			
関連施策				
取組の目的	箱根滞在中の来訪者の満足度を高め、住民や域内事業者が安心安全に過ごすことのできる持続可能な観光地の形成を目指し、二次交通の更なる活用を視野に入れ、域内周遊の快適性を高め、恒常的な渋滞の緩和に繋げるための施策を検討・推進する。			
取組内容	箱根エリアの来訪者が、渋滞や密を回避し混雑の少ないルートを利用しながら周遊するために有用となる、道路混雑状況や駐車場の満空情報などの各種情報を、交通事業者や観光事業者等の関係者が連携し、観光ウェブサイトやデジタルサイネージ上などでの一元的な情報発信を推進する。あわせて、公共駐車場の駐車情報を収集・活用し、地域内における利用者の周遊形態や混雑情報を把握する。民間事業者においては自社webサイト等を活用した公共交通の運行情報や混雑状況の発信、ピークシーズンの混雑予報や予想待ち時間の提供等により、域内周遊の快適性向上や混雑の緩和をはかる。			
実施場所・対象地	実施場所・対象地		具体的な場所	
	箱根エリア全体 一部	○	エリア内道路沿い、大涌谷三叉路、元箱根箱根町エリア	
目標				

取組の現状と今後の予定・計画

		2021 (令和3年度)	2022 (令和4年度)	2023 (令和5年度)	2024 (令和6年度)	2025 (令和7年度)
スケジュール	箱根DMO	   				
	自然公園財団					
	民間事業者 (小田急箱根HD)					
進捗状況	※次年度以降のフォローアップに使用			箱根観光デジタルマップを実装して、混雑緩和にチャレンジしている。 ※観光庁令和5年度「事業者間・地域間におけるデータ連携等を通じた観光・地域経済活性化実証事業」		
想定している予算措置						



<取組個票>

②滞在・周遊により特色ある魅力を体験できる国立公園

プロジェクト	イ. 混雑回避、周遊促進のための取組の推進		番号	②イ-2
実施内容	2.観光型MaaSの推進			
実施主体	民間事業者（小田急箱根ホールディングス）			
関連施策	②イ-3			
取組の目的	交通機関の乗車券、更には宿泊や観光スポットとも連携した観光型MaaSを推進し、利用者の利便性の向上、満足度の向上を図る。			
取組内容	箱根エリアの鉄道、ロープウェイ、バス、船などの交通機関の乗車券の予約や決済、利用の一元化、更には宿泊施設や観光スポットとも連携した予約や決済の一元化などの観光型MaaSを、交通事業者や観光事業者等、関係者が連携し推進することにより、国内客のみならず、外国人観光客の利用促進のための多言語整備・決済機能の拡充を図る。			
実施場所・対象地	実施場所・対象地		具体的な場所	
	箱根エリア全体	○		
	一部			
目標				

取組の現状と今後の予定・計画

		2021（令和3年度）	2022（令和4年度）	2023（令和5年度）	2024（令和6年度）	2025（令和7年度）
スケジュール	民間事業者（小田急箱根ホールディングス）					
		観光型MaaSの取組実施、利用者に向けた情報発信				
進捗状況	※次年度以降のフォローアップに使用					
想定している予算措置						

②滞在・周遊により特色ある魅力を体験できる国立公園	
プロジェクト	イ. 混雑回避、周遊促進のための取組の推進
実施内容	3. サブスクリプション型の利用チケット発売と参加施設拡大
実施主体	民間事業者（小田急箱根ホールディングス）
関連施策	①ウー3、②イー2
取組の目的	箱根エリアの各種施設が連携した利用チケットを販売することにより、利用者の利便性の向上、満足度の向上を図る。
取組内容	箱根エリアの美術館、温浴施設、アクティビティなどを有効期間中に何度でも利用できるサブスクリプション型の利用チケットを発売し、チケットの活用促進のための取組を推進する。
実施場所・対象地	実施場所・対象地
	箱根エリア全体
	一部
目標	

#### 取組の現状と今後の予定・計画

		2021（令和3年度）	2022（令和4年度）	2023（令和5年度）	2024（令和6年度）	2025（令和7年度）
スケジュール	民間事業者（小田急箱根ホールディングス）	サブスクリプション型の利用チケット発売、利用者に向けた情報発信				
進捗状況	※次年度以降のフォローアップに使用					
想定している予算措置						

<取組個票>

②滞在・周遊により特色ある魅力を体験できる国立公園

プロジェクト	ウ. 宿泊や滞在時間の増加につながるコンテンツの開発強化と情報発信	番号	②ウ-1
実施内容	1.モーニングタイム、ナイトタイムの利用推進		
実施主体	民間事業者、箱根町、箱根DMO、環境省		
関連施策			
取組の目的	宿泊や滞在時間の増加にも寄与する新たなコンテンツを開発し、モーニングタイム、ナイトタイムの利用を推進する。		
取組内容	<p>総称「箱根火山」の成り立ちを一望出来る数少ない場所であり、外輪山の形状により星や夜景が綺麗に見える場所である駒ヶ岳山頂において国内日本人向けに期間限定で実施している星空観察会について、新たにインバウンド対応や早朝の時間帯の実施、星空以外のコンテンツの多様化や更なる高付加価値化を行うと共に、山頂デッキ及びデッキ周辺等の上質化を行う。箱根DMOコンテンツとする事で、箱根エリアのホテル・旅館の宿泊プラン新規造成を促し、外国人観光客からの要望が多いナイトタイムのコンテンツ充実に向けて地域全体で取り組む。</p>		
実施場所・対象地	実施場所・対象地		具体的な場所
	箱根エリア全体	-	
	一部	○	駒ヶ岳山頂
目標	通常プランへのインバウンド参加人数900人		

取組の現状と今後の予定・計画

		2021（令和3年度）	2022（令和4年度）	2023（令和5年度）	2024（令和6年度）	2025（令和7年度）
スケジュール	民間事業者、箱根DMO	事業計画作成、実証実験			順次検討、取組実施	
	環境省			法令関係確認、取組支援		
進捗状況	※次年度以降のフォローアップに使用	2020年度：令和2年度富士箱根伊豆国立公園満喫プロジェクト箱根地域ナイトタイム等活用調査検討業務（環境省）において、実証実験を実施。		令和5年度観光庁「観光再始動事業」にて駒ヶ岳山頂と駒ヶ岳ロープウェーを活用してモーニングタイムの需要掘り起こしを計画したが、活用施設の故障修理により、採択後に事業を断念した。		
想定している予算措置	観光庁観光再始動事業					

<取組個票>

②滞在・周遊により特色ある魅力を体験できる国立公園

プロジェクト	ウ. 宿泊や滞在時間の増加につながるコンテンツの開発強化と情報発信	番号	②ウー2
実施内容	2.安全確保をした形での大涌谷自然研究路におけるプログラムづくりに係る協議		
実施主体	箱根町、箱根DMO、神奈川県（大涌谷園地安全対策協議会）		
関連施策			
取組の目的	大涌谷の自然研究路について、予約制で監視員をつけて団体行動のみを可能とするなど、安全確保をした形でのプログラムづくりを推進する。		
取組内容	1日4回、1回最大30名に限定し、通常立ち入れない火山活動区域を、引率入場により特別な安全対策のもとに散策。		
実施場所・対象地	実施場所・対象地		具体的な場所
	箱根エリア全体	-	
	一部	○	大涌谷
目標			

取組の現状と今後の予定・計画

		2021（令和3年度）	2022（令和4年度）	2023（令和5年度）	2024（令和6年度）	2025（令和7年度）
スケジュール	箱根町、箱根DMO、神奈川県（大涌谷園地安全対策協議会）	引率入場の実施、実施結果を踏まえた内容変更等				
	箱根町、箱根DMO	路線の維持管理等				
進捗状況	※次年度以降のフォローアップに使用			大涌谷自然研究路については、当初計画通り順調に運営できている。実施率は70%程度。		
想定している予算措置						

②滞在・周遊により特色ある魅力を体験できる国立公園	
プロジェクト	ウ. 宿泊や滞在時間の増加につながるコンテンツの開発強化と情報発信
実施内容	3.各地区内での周遊促進のためのマップ等制作、情報発信
実施主体	箱根DMO、民間事業者、箱根パークボランティア・箱根ボランティア解説員連絡会
関連施策	
取組の目的	箱根エリア各地区内での周遊を促進するため、地区内の見どころや立ち寄りスポット、お薦めの周遊ルートなどをまとめたマップ等を制作するなどの情報発信を推進する。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域別、カテゴリ別に見どころや立ち寄りスポット等をまとめた冊子、WEBサイトの作成</li> <li>・冊子、WEBサイトへの掲載コンテンツとなる観光情報の提供</li> <li>・芦ノ湖西岸遊歩道、箱根ビジターセンター周辺、湯坂路、金時山、仙石原遊歩道、芦ノ湖東岸・駒ヶ岳・九頭龍の森、大涌谷・姥子、湖尻峠・黒岳等において、開花状況等の自然情報を収集し、ビジターセンター及びWEBサイト等で発信</li> </ul>
実施場所・対象地	実施場所・対象地
	箱根エリア全体
	○
	-
目標	

### 取組の現状と今後の予定・計画

		2021 (令和3年度)	2022 (令和4年度)	2023 (令和5年度)	2024 (令和6年度)	2025 (令和7年度)
スケジュール	箱根DMO		観光ガイドブック発行	観光ガイドブック発行 (継続)		
				箱根観光サイト「箱根全山」にて情報公開 (継続)		
	民間事業者			冊子、WEBサイトへの掲載コンテンツとなる観光情報の提供		
	箱根パークボランティア・箱根ボランティア解説員連絡会			開花状況等の自然情報収集、発信		
進捗状況	※次年度以降のフォローアップに使用			箱根全山、HAKONE-JAPANでコンテンツを更新している。 箱根観光MAPを作成し、情報を更新している。		
想定している予算措置						

<取組個票>

②滞在・周遊により特色ある魅力を体験できる国立公園

プロジェクト	I. 来訪者の安全確保と、安心・安全な観光地であることの国内外への情報発信		番号	②E-1 ②E-2
実施内容	1.登山者や観光客の安全確保のために必要な方策、取組推進に係る協議 2.安全・安心な観光地であることの国内外への情報発信			
実施主体	1.箱根町、箱根DMO、神奈川県 2.箱根DMO			
関連施策				
取組の目的	箱根山の噴火発生に対する登山者や観光客の安全確保のために必要な方策について、関係者により協議し取組を推進する。 併せて、ウィズコロナ、アフターコロナを見据え、箱根エリアは自然が豊かで密にならない状況で楽しめる場所であることなど、安全・安心な観光地であることの国内外への情報発信を推進する。			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難誘導訓練の実施</li> <li>・箱根DMO防災対策PJTにてエリアごとの課題抽出</li> <li>・災害時の観光客の避難誘導、情報発信について整理・検討</li> </ul>			
実施場所・対象地	実施場所・対象地		具体的な場所	
	箱根エリア全体	○		
	一部			
目標	・アンケートや調査を通じて課題抽出・解決により観光客向けの防災整備を進めるとともに、発信を行うことで箱根の観光地としてのブランドアップを図る。			

取組の現状と今後の予定・計画

		2021（令和3年度）	2022（令和4年度）	2023（令和5年度）	2024（令和6年度）	2025（令和7年度）
スケジュール	箱根町 箱根DMO		防災アンケート実施  エリア別観光客待機場所キャパ算  情報発信方法の検討	観光客向け待機場所確保、調整  情報発信方法の検討、調整	公開	
進捗状況	※次年度以降のフォローアップに使用		2022年 箱根DMO防災対策PJT ①町内事業者へ防災に関わるアンケート実施 DMO賛助会員70件より回答。町内いずれのエリアも情報や避難判断への不安があることが判明。今後はエリアごとの課題出しを実施、地域代表者へのヒアリングを図っていく予定。 ②町内エリアごとの災害発生時待機場所の規模調査 箱根町入込観光客数調査や令和元年度環境省事業箱根地域利用動態調査をもとに、混雑ピーク時のエリアごとの観光客数を算出。観光客の一時待機場所のキャパがいずれのエリアも足りていないことが判明。→土地やアクセス状況に応じた待機・避難方法の検討 ③観光客向け防災情報提供プラットフォームの整理 はこぼろマップの活用検討。現在避難所情報が掲載されているが、住民向けである。→①の調査内容をもとに、観光客向けの一時避難場所を掲載できるような仕組み検討。事業者への情報周知→観光客への情報周知を図る	2023年 箱根DMO防災対策PJT ①町内エリアごとの災害発生時待機場所の規模調査 箱根町入込観光客数調査や令和元年度環境省事業箱根地域利用動態調査をもとに、混雑ピーク時のエリアごとの観光客数を算出。観光客の一時待機場所のキャパがいずれのエリアも足りていないことが判明。→土地やアクセス状況に応じた待機・避難方法の検討 ③強羅を重点地域として、防災時の避難方法や住民観光客への周知などを地域を絞って検討している。		
想定している予算措置						

<取組個票>

②滞在・周遊により特色ある魅力を体験できる国立公園

プロジェクト	オ. 箱根エリア全体での情報共有、エリア内での連携推進と強化		番号	②オー-1 ②オー-2
実施内容	1.情報共有、意見交換、体験活動等の機会創出 2.エリア内での連携の強化			
実施主体	1：民間事業者、箱根DMO、環境省 2：箱根DMO			
関連施策				
取組の目的	箱根エリアに住む人々や働く人々が、地域に関する理解を深められるよう、情報の共有や意見交換、体験活動等が出来る機会を創出するとともに、こうした機会を通じて箱根エリアに住む人々や働く人々の連携を強化する。			
取組内容	箱根DMO戦略推進委員会において、箱根町の課題解決に資するプロジェクト運営を図るとともに、定期的な地域の情報交換を実施			
実施場所・対象地	実施場所・対象地		具体的な場所	
	箱根エリア全体	○		
	一部			
目標				

取組の現状と今後の予定・計画

		2021（令和3年度）	2022（令和4年度）	2023（令和5年度）	2024（令和6年度）	2025（令和7年度）
スケジュール	箱根DMO	箱根DMO戦略推進委員会の開催による検討、情報交換				
	環境省 民間事業者	生態系保全等専門員の講師派遣、シカや箱根の自然環境を活かした環境教育の提供、情報共有、モニタリング調査の機会創出				
進捗状況	※次年度以降のフォローアップに使用			<p>（箱根DMO） 箱根DMO戦略推進委員会で、主にサステナブルPJTとガイド育成については毎月検討内容を報告。さらに箱根町観光協会の役員（理事・評議員）に毎月レポートしている。</p> <p>（環境省） Hakone Deer Actionによる「箱根シカ塾」を計2回開催（セブンイレブン記念財団助成事業） 11月5日（箱根地域内の事業者、小中学生等を対象） 2月4日（箱根地域のガイド、セブンイレブンの従業員等を対象）</p>		
想定している予算措置						

<取組個票>

③ 脱炭素・循環型の取組を先導する国立公園

プロジェクト	ア. 環境学習のフィールドとしての利用や情報発信の推進		番号	③ア-1 ③ア-3
実施内容	1. マナーやルール等の啓発のための教室開催 3. 教育現場における環境学習の動向把握、体験フィールドとしての箱根の情報発信			
実施主体	1. 民間事業者（HAKONE UNITED）、箱根町、箱根DMO 3. 箱根町、箱根DMO			
関連施策				
取組の目的	箱根エリアの森林をフィールドとした、森林利用のマナーやルール等を啓発するような教室を開催する。 また、SDGsやカーボンニュートラルなどの教育現場における環境学習の動向を把握し、それら環境学習の具体的な体験フィールドとしての箱根について、情報発信を推進する。			
取組内容	・町内、町外のこどもたち向けに楽しみながら自然資源について学ぶ体験学習の実施 ・箱根エリアにて、環境倫理プログラムLeave No Traceトレーナークラスの実施			
実施場所・対象地	実施場所・対象地		具体的な場所	
	箱根エリア全体	○		
	一部	-		
目標				

取組の現状と今後の予定・計画

		2021（令和3年度）	2022（令和4年度）	2023（令和5年度）	2024（令和6年度）	2025（令和7年度）	
スケジュール	箱根DMO		サマーキャンプ実施	サマーキャンプ実施(継続)			
			焚火イベント実施	町内幼児向けイベント実施(継続)			
				夏休みこどもジオ講座の実施			
			Leave No Traceトレーナークラス開催				
進捗状況	※次年度以降のフォローアップに使用			町内、町外のこどもたち向けに楽しみながら自然資源について学ぶ体験学習の実施について、ゴールドウイン社の協力のもと、サマーキャンプなどを実施。箱根DMO認定ガイド育成において、環境倫理プログラムLeave No Traceトレーナークラスを実施。			
想定している予算措置							



<取組個票>

③ 脱炭素・循環型の取組を先導する国立公園

プロジェクト	ア. 環境学習のフィールドとしての利用や情報発信の推進		番号	③ア-2
実施内容	2. 町民参加型の環境保全活動の企画・イベント開催			
実施主体	民間事業者、箱根町、箱根DMO、神奈川県、林野庁、環境省			
関連施策				
取組の目的	箱根エリア内におけるゴミ清掃、木の伐採等の町民参加型の環境保全活動の企画・イベント開催などについて、関係者により協議し取組を推進する。箱根の重要な観光資源である自然を守るため、地域一体となり持続性を高めていく			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登山道補修ボランティア活動のインセンティブ強化</li> <li>・登山道補修の工法として近自然工法の導入を検討</li> <li>・植栽イベント、清掃イベント（箱根クリーン作戦等）の開催</li> </ul>			
実施場所・対象地	実施場所・対象地		具体的な場所	
	箱根エリア全体	○		
	一部	-		
目標				

取組の現状と今後の予定・計画

		2021（令和3年度）	2022（令和4年度）	2023（令和5年度）	2024（令和6年度）	2025（令和7年度）
スケジュール	箱根町 箱根DMO 環境省		登山道補修のあり方検討			
					登山道補修ボランティア活動のインセンティブの強化	
	環境省			具体的な取組を実施するための法令関係確認、取組支援		
	環境省 民間事業者				生態系保全等専門員の講師派遣、植生保護柵の設置イベントの開催	
	民間事業者					宿泊事業者を中心とした「箱根クリーン作戦」の合同実施による環境改善および意識向上
進捗状況	※次年度以降のフォローアップに使用	箱根クリーン作戦：1991年以来、29回目の開催。総数100名の参加により、湖畔地区一斉清掃を実施。		令和5年度観光庁サステナブルな観光に資する好循環の仕組みづくりモデル事業にて、ウォーキングアプリ「膝栗毛」を利用して芦ノ湖のゴミ拾いイベントへの参加を促している。		
想定している予算措置						

<取組個票>

③ 脱炭素・循環型の取組を先導する国立公園

プロジェクト	イ. 脱プラスチック、再生可能エネルギー利用の促進		番号	③イ-1
実施内容	1.脱プラスチックに向けた取組推進			
実施主体	民間事業者、箱根町、箱根DMO、環境省			
関連施策				
取組の目的	町内事業所等における透明リサイクルボックスの設置を促進することでペットボトルを確実に水平リサイクルできるルートを確認し、持続性のある資源化や使用済みのペットボトルの適正処理の推進、CO2の削減を図ることを目的とする。加えて、町民や事業者、町を訪れる人々に水平リサイクルを実践していただくことで日本全体のプラスチック資源循環の意識向上を期待するもの。			
取組内容	箱根エリアの各種施設における取組や、エリア全体としてペットボトルの水平リサイクルの取組や、アルミ缶の取り扱い、マイボトルの利用促進など、脱プラスチックに向けた取組について関係者間で協議、推進する。民間事業者においては各社の指針、計画等に基づき、自社施設でのペットボトルの削減、アメニティの配置方法の変更等を通じて、地域内における脱プラスチックを推進する。			
実施場所・対象地	実施場所・対象地		具体的な場所	
	箱根エリア全体	○	箱根町関連施設(出張所、箱根ジオミュージアム等)、町内事業者(宿泊事業者、観光施設等)、箱根DMO運営受託施設(道の駅箱根峠、関所)、民間事業者各施設	
	一部	-		
目標				

取組の現状と今後の予定・計画

		2021 (令和3年度)	2022 (令和4年度)	2023 (令和5年度)	2024 (令和6年度)	2025 (令和7年度)
スケジュール	箱根町 箱根DMO		<b>【事業者向け】</b> 透明リサイクルボックス60台設置 追加設置施設選定 ボックス購入 追加設置検討	追加設置施設拡大検討		
			<b>【町民向け】</b> アクションプラン検討 実行 検証・次年度取組検討			
	環境省			公園事業施設への追加設置支援・調整		
	民間事業者	宿泊施設等におけるペットボトルの削減、アメニティの配置方法の変更等				
進捗状況	※次年度以降のフォローアップに使用		2022年度透明リサイクルボックス60基手配→内53基設置済(12月時点) 町内事業者への意向調査を基に、残り7基の設置先の確定、並びに来年度の設置施設拡大に向けての予算の確保 町民向け啓発活動内容(アクションプラン)の検討	2023年4月すべての使用済みペットボトルの水平リサイクルの開始 2023年度透明リサイクルボックス48基手配(前年度の残と合わせて52基設置済み)(1月時点)		
想定している予算措置	箱根町予算、環境省ローカルブルーオーシャン推進事業予算					

<取組個票>

③ 脱炭素・循環型の取組を先導する国立公園

プロジェクト	イ. 脱プラスチック、再生可能エネルギー利用の促進	番号	③イ-2
実施内容	2.再生可能エネルギーの利用検討		
実施主体	民間事業者（富士屋ホテル株式会社）、箱根町、箱根DMO、環境省		
関連施策			
取組の目的	箱根エリアで可能性を有する再生可能エネルギーの利用促進について、関係者により協議し取組を検討する。		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域循環共生圏PJT内にて関係者間議論</li> <li>・宿泊、飲食施設等民間事業者を巻き込んだ、自然循環のマネジメント、ゼロウェイストへの取り組み</li> <li>・食品残渣からの発電、廃棄物の有価化、物流の見直しによるコストダウン等による事業者のコストアップなしのスキームの構築、具体的な実施に向けた課題の抽出と解決、実現に向けた設計</li> <li>・管理施設における再生可能エネルギー設備（バイナリー発電、バイオマスボイラー等）の導入</li> </ul>		
実施場所・対象地	実施場所・対象地	具体的な場所	
	箱根エリア全体	○	
	一部	○	箱根湯の花プリンスホテル、富士屋ホテル仙石ゴルフコース
目標	バイオマスボイラーによるクリーンなエネルギーの使用により CO <sub>2</sub> を削減し、気候変動対策の一助とする。年間のCO <sub>2</sub> 削減量として約 284 tを見込む。（杉の木約 32,272 本が 1 年間に吸収する CO <sub>2</sub> 量に相当）		

取組の現状と今後の予定・計画

		2021 (令和3年度)	2022 (令和4年度)	2023 (令和5年度)	2024 (令和6年度)	2025 (令和7年度)
スケジュール	箱根町 箱根DMO 環境省 民間事業者	環境省地域循環共生圏 PJT始動 曼荼羅図作成	地域循環共生圏PJT			
	環境省		再生可能エネルギーとなりえる資源の検討継続			
	民間事業者 (富士屋ホテル株式会社)		自然循環のマネジメント ゼロウェイストへの取組			
			実施に向けた調整・支援			
			再生可能エネルギー設備の導入			
進捗状況	※次年度以降のフォローアップに使用			(湯の花プリンスホテル) 6/1 (木) バイナリー発電稼働開始 (仙石ゴルフコース) 7/22 (土) バイオマスボイラー稼働開始		
想定している予算措置	環境省地域循環共生圏事業（実証事業）、環境省ローカルブルーオーシャン推進事業予算					

<取組個票>

③ 脱炭素・循環型の取組を先導する国立公園

プロジェクト	ウ. 持続可能な観光（サステナブルツーリズム）の推進	番号	③ウ-1
実施内容	1.サステナブルツーリズムの促進		
実施主体	民間事業者、箱根町、箱根DMO、環境省		
関連施策			
取組の目的	箱根エリアの豊かな自然環境や歴史、文化を守るため、脱プラスチックなどの環境問題に対応しながら、地域に根差した価値が高い体験を提供するサステナブルツーリズムについて、関係者により協議し取組を推進する。		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・箱根の地域資源を維持、拡大していくために自然資源に配慮したツアーの造成</li> <li>・箱根の自然・歴史・文化を伝えられるガイドの育成</li> <li>・混雑の平準化を図るべくポテンシャルのある資源調査</li> <li>・域内の農産品を持続可能な形で活用した、特色あるサービスの提供</li> </ul>		
実施場所・対象地	実施場所・対象地		具体的な場所
	箱根エリア全体	○	
	一部	○	藤田観光 箱根小涌園ユネッサン
目標	地域一体となり、今年度造成したコンテンツ（ツアー、WEB、資源台帳等）の活用について議論を深め、継続的に磨き上げていくとともに、地域の観光消費額を向上させる仕組みを完成させる		

取組の現状と今後の予定・計画

		2021（令和3年度）	2022（令和4年度）	2023（令和5年度）	2024（令和6年度）	2025（令和7年度）
スケジュール	箱根DMO		資源調査(ハイキングコース) ガイドステップアップ講習 WEBサイト作成 モデルコース造成	ガイドステップアップ講習の継続	WEBサイト内容の情報更新	
	環境省		コンテンツガイドライン活用支援、モデルコース作成支援、法令関係確認、各種調整による取組支援			
	民間事業者		JAかながわ西湘との連携による、温浴施設での非流通作物の利用（変わり湯）、地域食材等の活用			
進捗状況	※次年度以降のフォローアップに使用		（箱根小涌園ユネッサン） 温浴施設での非流通作物の利用（変わり湯）、地域食材等の活用開始	（箱根小涌園ユネッサン） 引き続き非流通作物の利用を実施  （箱根DMO） 令和5年度観光庁サステナブルな観光に資する好循環の仕組みづくりモデル事業の中で、サステナブルコンテンツツアーを造成販売。		
想定している予算措置	環境省各公園ストーリーを体験できるモデルコース作成業務					